

2016年(平成28年)7月30日(土) NO 100号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

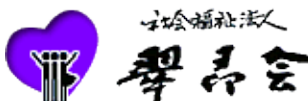
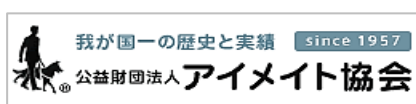


【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



ごあいさつ



慌ただしい日常の中では“自分さえよければ” “私が先でなければ”
という気持ちになりがちです。

しかし周囲の人々と心地よく暮らしていくためには、自分の欲求を腹八
分に抑える心がけが大切です。

例えば「お先にどうぞ」と道を譲ることや、後から来る人のために入口のドアを開けて待つこと。
これらは先を急ぐ気持ちを少し抑え、そこで生まれた「時間のゆとり」を他に譲る行為です。

忙しいという字は「心が亡くなる」と書きます。

忙しいときこそ、他を思いやる「心のゆとり」を忘れないようにしたいものです。

代表取締役 木戸 良樹

今月の良い話

「運を強くする秘訣」



福岡時代には忘れられないお客様がいます。
工学博士の小田さんという方です。
現役の頃は土木工学の権威だったそうですが、リタイア後は先祖の残した山を開発して、600区画もの宅地を持っていました。
それを我が社にも売らせてくださいと飛び込みで訪ねていきましたが、この小田さんは地元では「変人」と呼ばれて人を家に上げたことがない。他社も数社訪れたそうですが、全部門前払いされたといひます。当然私も最初はそうでしたが、通いに通いつめてようやく玄関先で話せるようになり、さらにはある日、「きょうはどうぞお上がりください。私は何万人もの人に会ってきたが、あなたのような人は初めてだ」と、どこをどう気に入られたのか分かりませんが、部屋に上げてもらいました。

.....
そうして仕事をいただいて、息子のように可愛がってくださるようになった頃、小田さんは、「私の資産は20、30億円あるでしょう。それを全部あなたに託してもいいから、独立して会社を起したらどうですか」と言われたんです。

当時の20、30億円といったらおそらくいまの100億円くらいあるでしょう。もともと私は自分の会社を持ちたいという思いで社会に出ていますから、喉から手が出るほどありがたいお話でした。

しかし、25歳で入社して36歳で支店長にさせていただき、こうして福岡の支店長をさせていただいているのも自分一人の力ではないという思いもある。

私は「一晩考えさせてください」と言って、その場を後にしました。

よくよく考えてみても、会社が自分を必要としてくれていることは分かっていました。

世話になった会社に後ろ足で砂をかけるようなことをしては人の道に外れるのではないかと思います、翌日、

「大変ありがたいお話ですが、これからも先生とは“大和ハウスの樋口”としてお付き合いさせてください」と、お返事しました。

.....
こういう方との出会いがあるのも私の運の強さだと思います。

小田さんが亡くなられてからも13回忌までずっと出させていただきましたが、そのくらいになると集まるのは5、6人になるんですね。オーナーも事あるごとに

「樋口君も運のいい人と付き合い。運の悪いやつと付き合いと運を取られるぞ」と

と言っていました。要は人の道を守らない人間に運なんてついてこないですよ。

.....
それと、親を大切にしない人間が他人様を大事にできるわけがないですよ。

親を大切にするというのは恩ある人を大切にすることです。

だから、世話になった人に後ろ足で砂をかけて逃げるようなことは絶対にしてはいけません。

運を強くするには人の道をちゃんと守ることが一番大切だと思います。

要するに人として当たり前のことを当たり前にする、凡事徹底ということです。

大和ハウス工業会長 樋口 武男

記事提供 到知出版社

今月の良い話 「無理をしない経営」

自然の法則に従う生き方を、企業経営で考えると、それはどのようなものになるのでしょうか。廣池が「自己の力以上もしくは力いっぱい事業をなす人は、最高道徳にていわゆる誠の人ではない(力以上の仕事には無理ができるから)」と述べているように、自然の法則に従う経営とは、無理をしない経営であるとも言い換えられます。

では、なぜ無理がいけないかといえば、無理をすれば必ずどこかに歪みが生じるからです。特に企業経営の場では、往々にして拡大を急ぐ傾向にあります。「今の商売を大きくしたい」「店を増やしたい」といった願望は誰でもあり、また少ないチャンスにタイミングよく飛び出すことも大切です。しかし、自己の力を過信したり、人材が育っていないにもかかわらず店舗の拡大を図れば、歯車がうまく噛み合わず、その結果、顧客からの信用を落としかねません。場合によっては命取りにもなります。

実際には、多くの経営者が、無理をする傾向にあります。それは、人間にはもともと欲望があり、その欲望を抑える手だてとして哲学的な理念や思想を持っていないと、永遠に心が満たされず、欲望は限りなく肥大化するからです。



例えば、一時的に株や競馬で百万円儲けた場合、次に同じ額を儲けても、以前と同じ満足は得られません。知らず知らずに、刺激がさらなる刺激を求め、果ては自己の力を見失ってしまいます。かつて一世風靡した実業家がバブルの泡沫となった例は枚挙に暇がありません。こうした泡沫を防ぐ手立てとして、私たちは「足るを知る」ことが大切です。

また、動物の世界でも、一人前になるまでの期間の五倍から七倍が自然の寿命といわれていますから、早く成長する動物ほど早く死んでしまいます。企業においても、焦って急成長させるより、まず基礎を固め、バランスのとれた堅実な成長のほうが長い繁栄をもたらすと言えるのではないのでしょうか。

『老子』には「物さかなれば則ち老ゆ。是れを不道という。不動は早くやむ」とあり、道に反して急ぎすぎたもの、急成長するものは早くに没落するという「長生久視(ちょうせいきゅうし)」の考え方を示しています。

長生久視とは、自然の流れに沿って息長く、また時代を長期にわたって見渡す生き方です。勝ち負けに拘泥(こうでい)せず、むしろ老子のいう「長生久視」こそ、「自然流の経営」の姿です。

事件ファイル NO100

インターホン押し間違い

発生日時 平成 28 年 4 月 27 日 (水) 午前 03 : 30 ごろ
発生場所 埼玉県さいたま市 (400 戸超の大型マンション)
状 況 救急隊員によるインターホン押し間違い

.....
居住者の方から夜中にインターホンが鳴動したため映像確認依頼あり。
原因は救急隊員の方によるインターホンの押し間違いと映像から判断されます。
夜半の押し間違いは大変迷惑になりますので、押される方は十分ご注意下さい。
酔っ払って帰って他の住戸のインターホンなど鳴らさないように・・・

*映像はモニター画面を写真撮影したもの



プロ太の小話集

NO100

『ドーピング』

ソチ・オリンピックで金メダルを獲得したロシア・ポーチン選手の出身地のドウプ村での祝勝会。
ポーチン 「みなさん、本日は私のためにお集まりいただきありがとうございます。」

それにしましても私に向けられるドーピングの根も葉もないウワサには閉口します。」

そこにポーチンの母親が1メートルのキュウリを抱えて入ってきた。

母 親 「ポーチン！お前、また畑でオシッコしたね！」



////////////////////
今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

皆さまのお陰様を持ちまして、K-PURO NEWS もとうとう 100 号を発行することができました。
ありがとうございます。心から御礼申し上げます。

ただし、これは一つの通過点であり、200 号、300 号、400 号と粛々と積み重ねて行き
たいと思っています。月 1 回のペースですので、400 号は 25 年後となりますが・・・
その時私は 76 歳になっていますが、それまで皆さんもどうぞ元気でいて下さい。



備考 / 表紙のアサガオは、毎年種から育てて約 30 年。今年も綺麗に咲き、また会いにくれました。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)